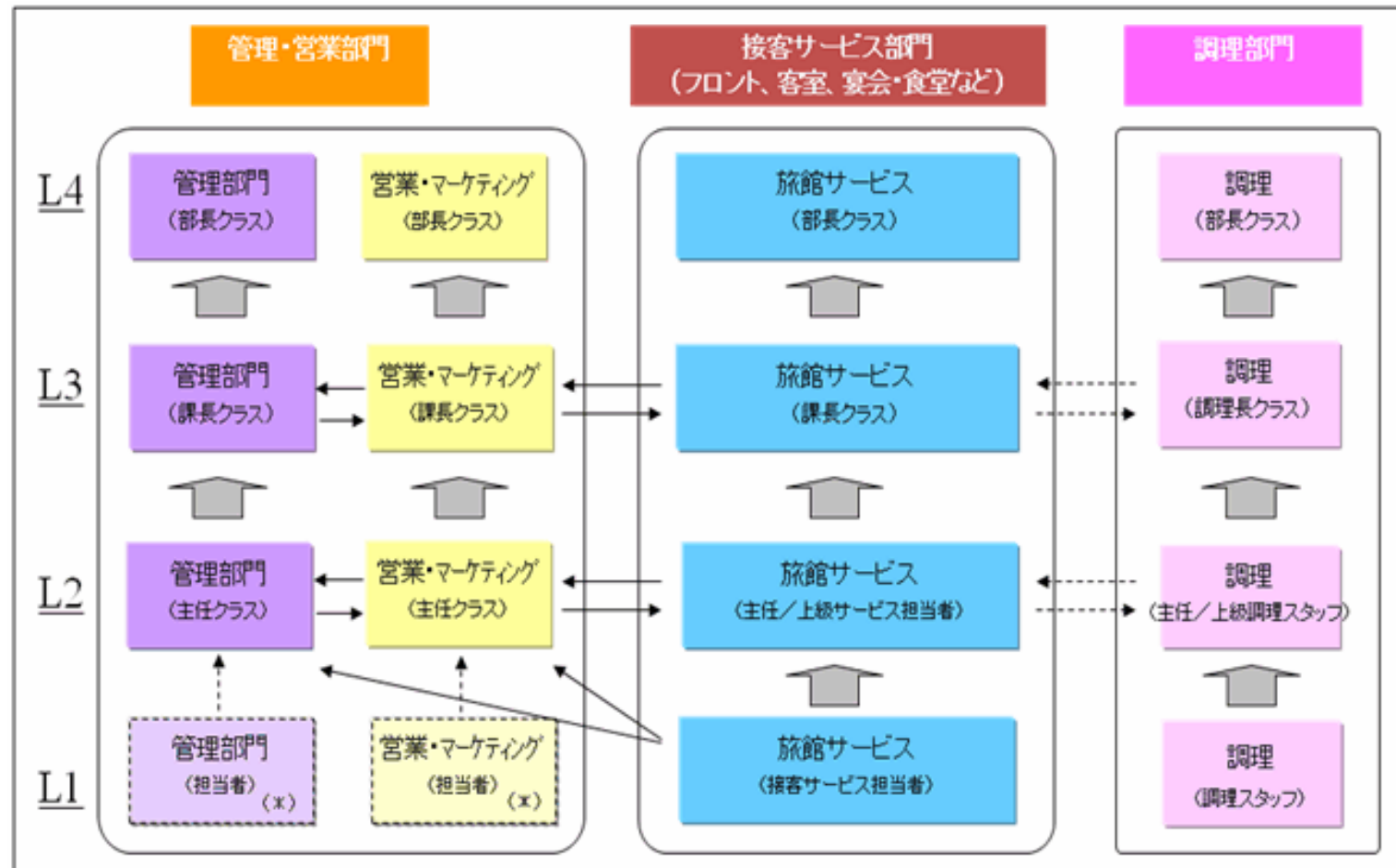


職業能力評価基準(旅館業)レベル区分の考え

レベル	レベル区分の目安	役職イメージ
レベル 4	<ul style="list-style-type: none"> ・大規模組織(部など)の責任者として、組織目標を設定し、広範かつ統合的な判断及び意思決定を行いながら組織を統率するために必要な能力水準 	本部長、部長
レベル 3	<ul style="list-style-type: none"> ・中小規模組織(課など)の責任者として、上位方針を踏まえて組織の管理運営を行うために必要な能力水準 もしくは ・接遇、調理等に関する高度な能力・知識を有し、接客サービス、調理等において、他旅館との差異化や高付加価値化の実現に貢献する能力水準 	課長、マネージャー もしくは ベテランスタッフ(スペシャリスト)
レベル 2	<ul style="list-style-type: none"> ・グループやチームの中心メンバーとして、創意工夫を凝らして自主的な判断、改善、提案を行いながら業務を遂行するために必要な能力水準 	主任、チームリーダー
レベル 1	<ul style="list-style-type: none"> ・担当者として上司の指示・助言を踏まえて定例的業務を確実に遂行するために必要な能力水準 	担当者

旅館業におけるキャリア形成の例



(*) 旅館によっては、管理部門や営業部門に新卒配属されるケースもある。